

11. 下甌村住民の口腔健康管理に関する予備調査結果

○福島 真弓, 岡崎 雅子, 松下志都子, 西田 裕光,
旭爪 伸二, 丸田 恭嗣, 塩野 幸一, 小椋 正
(鹿大・歯・小児)
長岡 英一 (鹿大・歯・補綴Ⅱ)

薩摩半島の西方約50kmの東支那海に甌島がある。甌島の最南端部を下甌村という。村は細長い島の中心部を背骨の如く南北に山脈が縦貫し、急傾斜のまま海に接しているので平地に乏しい。港湾付近には、比較的平坦地があるので、港湾付近の平坦地を中心に6つの集落が各々の特色を持って独自に発展した。東海岸は、海岸線の出入りがよく、長浜青瀬、手打と良港に恵まれているが、西海岸は、片野浦、瀬々野浦付近を除けば、内川内を入れほとんど絶壁地帯である。以上のような地勢である下甌島村営の青瀬歯科診療所の管理を、鹿児島大学歯学部歯科補綴学講座Ⅱと小児歯科学講座が歯科医師の派遣の依頼を受け、昭和59年10月1日より歯科医師の派遣を開始した。下甌村の住民は、男 1,844名、女 1,887名の 3,731名である。子供から老人までの口腔健康管理を行わなければならないので、歯科補綴学講座Ⅱと小児歯科学講座の両科で依頼を受ける事になった理由である。

調査目的は、下甌村の各地区、住民の、青瀬歯科診療所受診状況と口腔内状態を認識し、その処置内容を把握することにより、今後の下甌村住民の口腔健康管理を行っていく場合の参考資料となることである。

資料は、診療を開始した時から昭和60年2月28日までの受診者、男 ³¹444名、女 ⁹¹496名、計 940名である。それらの資料を地区別に分け、処置内容および齲蝕罹患状況等を調査したので報告する。